

広島市立己斐上中学校 2学年「国語科」シラバス

学年の目標

- (1) 自分の考えを大切に、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高めるとともに、自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで表現しようとする態度を育てる。
- (2) 文章の内容を的確に理解する能力を高めるとともに、積極的に読書に親しもうとする態度を育てる。
- (3) 古典の世界に触れ、親しみ、伝統的な言語文化を尊重しようとする態度を育てる。

月	学 習 内 容 (時数)	学 習 の ね ら い
4	1 広がる学びへ ・明日 ・アイスプラネット ・季節のしおり 春 ・枕草子	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に現れているものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。 ・登場人物の言動や心情を表す表現などに注意して、作品を読み取る。 ・作者の四季に対するものの見方や感じ方に触れ、自分が感じる四季の趣と比べる
5	・説明の仕方を工夫しよう 目的や相手に応じて書く ・言葉 1 類義語・対義語・多義語 ・要点を整理しながら聞き取る ・書写 行書を書こう(毛筆)	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じた説明の仕方を工夫する。 ・類義語・対義語・多義語について理解する ・話の要点や順序を整理しながらメモを取る。 ・行書の字形の整え方に注意して書く。
6	2 視点を定めて ・やさしい日本語 ・印象に残る説明をしよう プレゼンテーションをする	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開の仕方に注意して、内容を理解する。 ・資料や機器を活用し、プレゼンテーションをする。 ・漢字 2 字・3 字以上の熟語の構成を知る ・行書の特徴・へんやつくりを確認する。 ・筆者の物の見方や言葉遣い、表現の仕方などを読み味わい、短歌の世界に親しむ。
7	・漢字 1 熟語の構成 ・書写 行書を書こう(硬筆) ・新しい短歌のために・短歌 1 2 首 ・言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現を目指して ・文法 1 自立語	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の物の見方や言葉遣い、表現の仕方などを読み味わい、短歌の世界に親しむ。 ・言葉の微妙な違いを身につけ、表現する。 ・自立語 8 種類について、性質を理解する。
9	3 読書と情報 ・メディアと上手に付き合うために ・読書 旅する絵描き ・季節のしおり 夏	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な方法で集めた情報を比べ、自分の考えをまとめる。 ・調べたことを新聞にまとめる。
10	4 きずなを読む ・盆土産 ・字のない葉書 ・言葉 2 敬語 ・気持ちを込めて書こう 手紙を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の描写に注意して人柄を読み取る。 ・父親に対する筆者の思いを読み取る。 ・敬語の種類を理解し、適切に使う。 ・手紙の書き方について理解し、相手や目的に応じた手紙を書く。 ・相手の立場を尊重しながら自分の意見を主張する。 ・評論を読み、自分なりの考えを持つ。 ・行書と仮名の調和に気をつけて書く。
11	・相手の立場を尊重しよう ・季節のしおり 秋 ・君は「最後の晩餐」を知っているか ・書写行書と平仮名を書こう(毛筆)	
12	5 いにしえの心を訪ねる ・音読を楽しもう 平家物語 ・扇の的「平家物語」から ・仁和寺にある法師「徒然草」から ・係り結び ・漢詩の風景 律詩について ・書写行書と平仮名を書こう(硬筆)	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭部分を音読し、言葉の響きを楽しむ。 ・昔の人の物の見方・考え方に触れ古典に親しむ。 ・漢詩特有の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。 ・漢詩の形式・表現技法について理解する。 ・行書に調和する平仮名を書く。
1	6 論理をとらえる ・話し合って考えを広げよう パネルディスカッションをする ・文法 2 用言の活用 ・モアイは語る―地球の未来 ・季節のしおり 冬 ・立場と根拠を明確にして書こう 意見文を書く ・漢字 2 同じ訓・同じ音を持つ漢字 ・書写 楷書と行書を書こう(毛筆)	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討しながら自分の考えを広げる。 ・用言の活用について理解する。 ・立場と根拠を明確にした説得力のある表現を学ぶ。 ・立場と根拠を明確にして、構成を工夫しながら意見文を書く。 ・同じ読みを持つ言葉を正しく使い分ける。 ・楷書と行書を使い分ける。
2	7 自分を見つめる ・走れメロス ・文法 3 付属語 ・表現の仕方を工夫して書こう 視点を改めて物語を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・描写や会話を読み、人物像の変化をとらえる。 ・付属語の働きや種類を理解する。 ・気持ちが効果的に伝わる視点を考え、表現を工夫して書く。 ・方言と共通語の特徴について理解する。 ・送り仮名のつけ方の原則と例外を理解する。 ・言葉についての筆者の考えを読み取る。 ・全体の調和を考え、配列・配置よく書く。 ・のし紙・掲示物を書く。
3	・言葉 3 方言と共通語 ・漢字 3 送り仮名 ・言葉の力 ・書写 好きな言葉を書こう(毛筆) ・書写 生活に広げよう(毛・硬筆)	

(進度により、内容が前後します。)

- ① 国語への関心・意欲・態度……………授業ノート・二百字帳等提出物の提出状況、授業ノートの工夫、授業内活動
- ② 話す・聞く能力…………… 発表の仕方・内容、聞き取りテスト、スピーチ
- ③ 書く能力……………感想文等作文の内容、授業ノートのまとめ、定期試験の結果、作文、小論文
- ④ 読む能力……………授業中の発言・発表の内容、定期試験の結果
- ⑤ 言語についての知識・理解・技能……………漢字、定期テスト、書写、授業内活動